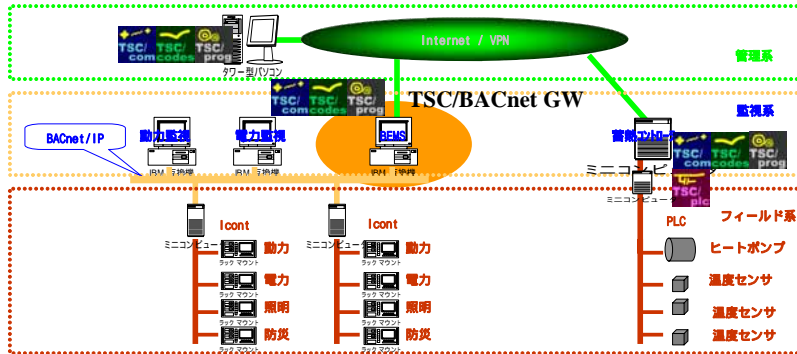


TSC/com-BACnet GW について

~ BACnet システムで TSC21 を利用するために ~

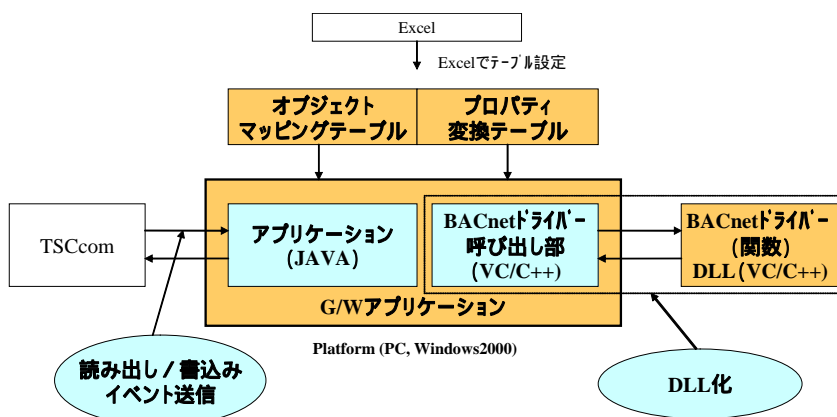
BACnet システムとのデータ授受をより簡便に行うために、TSC/com-BACnet GW が松下電工(株)により開発されました。このソフトウェアを搭載した PC を BACnet のシステムに参入させることで、TSC/com と BACnet を相互変換します。



TSC/comプロトコルで、BACnet システムのIcont等から、デジタル、アナログデータのモニタリング、収集を可能とする

サポートサービス: Read/ReadMultiple/ReadRange/Write/WriteMultiple

TSC/com-BACnet GW は下図のように実装されており、TSC21 側からはデータ管理として認識されます。TSC/codes のネーミングコードと BACnet のオブジェクト ID、プロパティ ID の変換は変換テーブルを用いて実現しています。



TSC/com-Excel GW プログラム(TSCcomAPI.DLL)について

～ TSC21 による遠隔監視を簡易に実現するために～

TSC21 による遠隔監視を効率化する手段として、TSC/com-Excel GW プログラム(ファイル名をとって TSCcomAPI.DLL と称する)が開発されました。これは Excel のワークシート関数より TSC/com Ver.3 用の API(Application Program Interface)を呼出すものです。これにより、「非定形的な」作業の大幅な簡略化が可能になります。例えば 3 つの建物のデータの横並比較を早急に行う必要があるとします。この場合、Excel を開き以下のようにセルに記入すると、「値」のセルには、実際に取得した値が代入されます。

グローバル名	ローカル名	プロパティ名	値
東電_豊島	DBO	Present_Value	=XLreadProperty(B2 ,C2 , D2)
東電_旭	DBO	Present_Value	=XLreadProperty(B3 ,C3 , D3)
東電_平塚	DBO	Present_Value	=XLreadProperty(B4 ,C4 , D4)

ワークシート関数を使用して、TSC/com経由で値を取得できる。

図 TSCcomAPI.DLL の利用イメージ

この際の動きとしては、下図のように・・・

エクセルの関数 TSC/comAPI ローカルの TSC/comAPI 現地の TSC/com ローカルの TSC/comAPI TSC/comAPI となります。

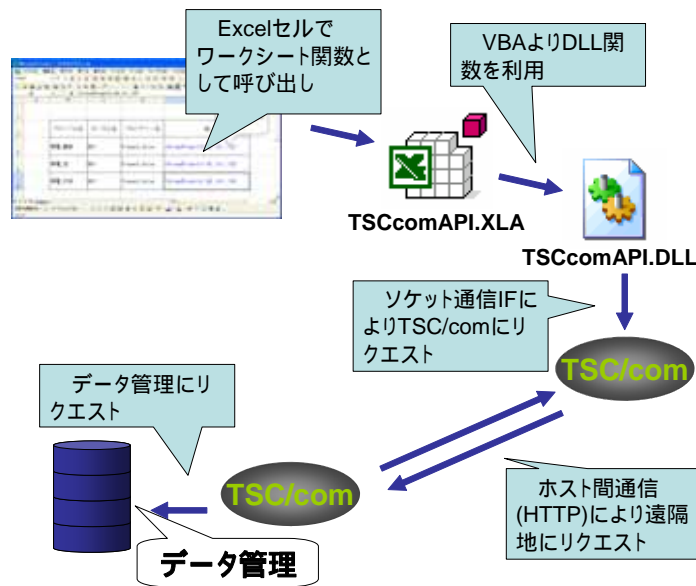


図 TSCcomAPI.DLL の動作概念フロー

当然ですが、一度セルに取り込まれた値は、その後の 2 次演算は Excel の関数 (Average,Max,Min など) を使用することが可能です。さらにグラフの作成および印刷なども Excel の機能を利用することができます。

このように、TSC/com-Excel GW プログラム(TSCcomAPI.DLL)を用いることで、下図のように複数建物の横並び比較など、マネージメントレベルの業務の効率を飛躍的に向上することが可能になります。

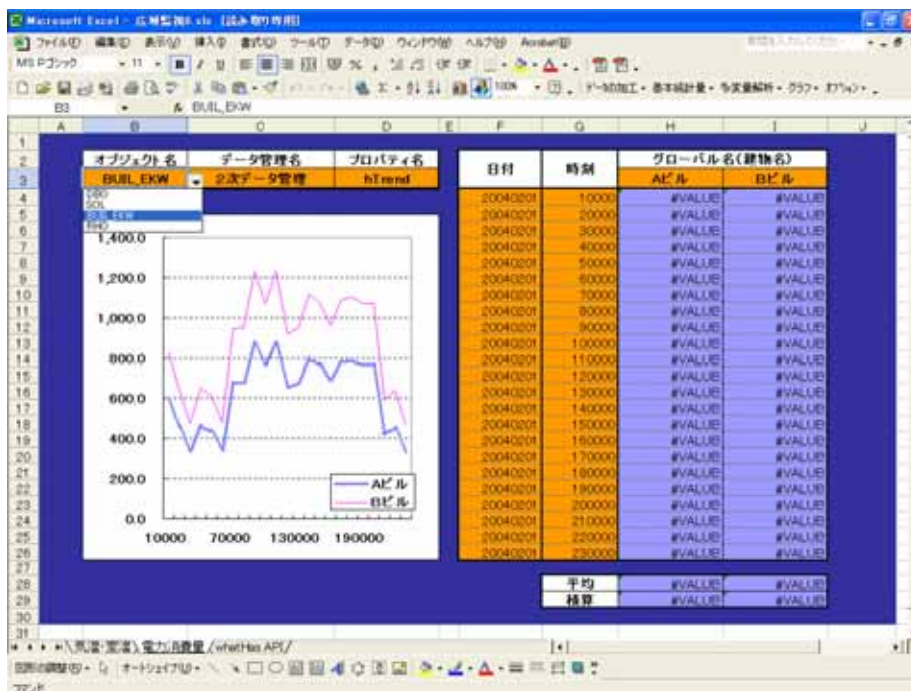


図 TSCcomAPI.DLL を利用した管理イメージ